

ご当地カフェ in 岐阜

～がんになってもじぶんらしくあるために～
「就労と治療の両立」



<ご当地カフェ>とは、がんになったあとの暮らしについて学び、語り合う学習イベントです。
このたび岐阜市民病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター
国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援部の共催で
がん治療と仕事の両立を考えるカフェを開くことになりました。
お茶を飲みながら講演を聞き、抱えている問題をみんなでざっくばらんに話し合いませんか？

平成29年 **2月26日** 13:30～16:30

場所 ぎふメディアコスモス
かんがえるスタジオ

参加費 無料 **定員** 50名 (事前申し込み。裏面の申込用紙をご利用下さい。)

対象 すべての方 (がん患者、がん患者の家族、医療者や職場の方、その他関心のある方)
病気の有無は問いません

共催

- 岐阜市民病院
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜県総合医療センター
- 国立がん研究センターがん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援部

後援 岐阜県医師会 岐阜市医師会

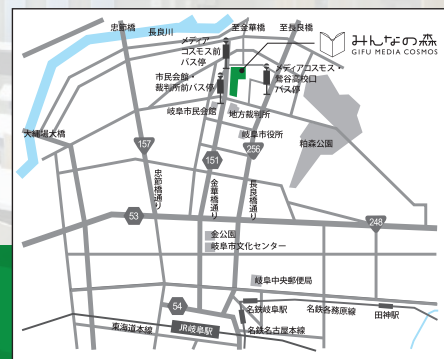
- 13:30 | **総司会** 澤 祥幸 (岐阜市民病院がんセンター長)
開会挨拶 若尾 文彦 (国立がん研究センターがん対策情報センター長)
特別発言 久光 重貴 (湘南ベルマーレ選手、日本肺癌学会広報大使)
- 13:35～13:55 | **講演**:「がんと仕事のQ&A」～がんサバイバーの就労体験に学ぶ
高橋 都 (国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部長)
- 13:55～14:05 | **講演**:「患者力」が仲間を支え、社会を変える
松本 陽子 (NPO法人愛媛がんサポート おれんじの会理事長)
- 14:05～14:15 | **講演**:行政で取り組んでいる就労支援について
岐阜県保健医療課
- 14:15～14:45 | **ご当地活動紹介** (岐阜における就労支援)
①横山 光恒 (NPO法人がんサポートセンター 副理事長)
②澤端 有美 (さわはた社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士)
③梅津 美香 (岐阜県立看護大学 成熟期看護学領域教授)
- 15:00～16:25 | **カフェタイム** (小グループに分かれて意見交換)
- 16:25 | **閉会挨拶** 國枝 克行 (岐阜県総合医療センターがん医療センター長)

[ご当地カフェ in 岐阜]のお問合せ先

岐阜市民病院 がん診療支援部

〒500-8513 岐阜市鹿島町7-1 TEL:058-251-1101 (4403) FAX:058-251-9927

ご来館の際には、お乗り合わせ又は公共交通機関のご利用にご協力下さい。
施設周辺での路上駐車は厳禁です。



2017年2月26日(日)

ご当地カフェ in 岐阜
参加申込書

FAX
番号 **058-251-9927**

下記項目にご記入のうえ、FAXにてご送付ください。

参加者数を把握するために申込をお願いしています。
受講者証は発行いたしません。直接会場にお越しください。

(参加者氏名・ふりがな)

(職種・職業)

電話番号(連絡先) :

所属施設名・団体名等 :

[郵送の場合] 〒500-8513 岐阜市鹿島町 7-1
岐阜市民病院 がん診療支援部
「ご当地カフェ in 岐阜」宛

[参加申込締切] 平成 29年2月12日(日)

[問 合 せ] 岐阜市民病院 がん診療支援部
〒500-8513 岐阜市鹿島町 7-1
TEL:058-251-1101(4403) FAX:058-251-9927